

法規分類大全

85

財政門
(9)

内閣記録局編

書房

内閣記録局編

法規分類大全

第八十五卷

財政門
〔9〕

覆刻版監修
石井良助
林修三
解題執筆
高橋誠

法規分類大全・第85巻

財政門〔9〕（第二編）第57回配本

定価 12,000円

昭和五十五年四月二十日印刷 昭和五十五年四月三十日発行 覆刻原本 明治二十七年刊									
編者	内閣書記	石井良三	林上昭	三橋	高瀬	成瀬	佐平河工業	佐拔製本	發行所
覆刻版									株式會社
監修									原書房
解題編									
集責任									
解題									
發行人									
印刷所									
製本所									
發行所									

東京都新宿区新宿一―二五―一三
振替口座 東京五一―五一五九四番
電話 〇三（354）〇六八五番（代表）

落丁、乱丁本はおとりかえいたします。

3332-15570-6945

法規分類大全第二編卷十五下目錄

財政門

財政總

各廳會計下

逕信省公達
第三百五號達

二等電信局會計例規

明治二十二年八月二十三日

頁一

逕信省公達
第三百八十四號達

二等電信局會計例規書式中改正追加

二十二年九月三十日

七十二

逕信省公達
第四百十三號達

二等電信局會計例規書式第十五號改正

二十二年十月二十四日

七十六

逕信省公達
第四百四號達

二等電信局會計例規

二十三年三月二十七日

九十七

逕信省公達
第四百七十一號達

二等電信局會計例規中改正

二十三年七月二十五日

九十七

逕信省公達
第四百八十七號達

在外國郵便及電信局會計例規

二十三年三月二十八日

百四十六

逕信省公達
第四百三十九號達

地方電信建築官會計取扱規程

二十二年九月四日

百四十六

逕信省公達
第四百十四號達

地方電信建築官會計取扱規程書式中依托工事繰

二十二年十月二十四日

二百

替資金受拂簿書式增補

二十三年三月二十七日

二百十三

逕信省公達
第九十五號達

遞信省現金前渡ヲ受タル官吏會計例規

二十三年三月二十八日

二百十三

逕信省公達
第一八三六號達

遞信省學校司檢所及爲替貯金局出張所會計例規

二十三年七月二十五日

二百九十三

逕信省公達
第二七七十三號達

燈臺局及諸學校歳入歳出記簿規程中改定

二十一年一月二十四日

二百九十三

北海道廳訓令
第六號

北海道廳會計規程第二十二條及第三十一條第一

二十一年一月二十四日

二百九十三

項改定

北海道廳訓令 第六十一號	北海道廳會計規程第三章第二十七條中追加	二十一年七月二十八日	三百二
北海道廳訓令 第十六號	北海道郡區役所出納順序	二十一年二月十五日	
北海道廳訓令 第四十四號	北海道郡區役所出納順序中第二部歲入ノ内森林 收入ニ關スルモノ取扱方	二十一年四月二十八日	五百十一
北海道廳訓令 第四十五號	北海道郡區役所出納順序中改正	二十一年五月八日	
北海道廳訓令 第七十四號	北海道郡區役所出納順序附屬書式第二十七號中 追加	二十一年十一月十七日	五百二十五
北海道廳訓令 第二十一號	北海道郡區役所出納順序附屬書式第二十七號中 追加	二十二年四月二十六日	
北海道廳訓令 第四十號	北海道戶長役場出納順序ハ郡區長ニ於テ適宜規 定ス	二十二年九月五日	五百二十六
北海道廳訓令 第十九號	北海道監獄署學校病院出納順序	二十一年二月二十一日	
北海道廳訓令 外令	北海道監獄署學校病院出納順序書式中更正	二十一年八月十七日	六百四
北海道廳訓令 第六十八號	北海道監獄分署金錢物品出納事務郡長ヘ委托ヲ 廢ス	二十一年九月十三日	六百四十八
北海道廳訓令 第六十九號	北海道監獄分署金錢物品出納事務取扱方法ハ典 獄ニ於テ規定ス	二十一年九月十三日	
北海道廳訓令 外令	北海道空知外二監獄署歲入歲出ハ特別規程ノ範 圍外トス	二十二年四月九日	
東京府 第十二府 號達	東京府郡區役所會計規則改定	二十一年三月三十一日	

法規分類大全第二編卷十五下

財政門

財政總

各廳會計下

逓信省公達

第二十二年八月二十三日
第三百五十一號 第一等郵便電信局 二等電信局

二等電信局會計例規
二十三年三月逓信省公達
第九十四號ニ依テ通過ス

二等電信局會計例規別冊ノ通相定メ來ル九月一日ヨリ執行ス

但別冊ハ別ニ關係ノ局ヘノミ頒ツ

(別冊)

二等電信局會計例規

第一章 總則

第一條 二等電信局ノ會計ハ此例規ニ據リ執行スルモノトス

第二條 局長ハ部下ノ官吏ニ會計主任ヲ命シ所管一等郵便電信局長ニ開申スヘシ但局長ニテ會計主任

ヲ兼掌スル場合モ亦本條ニ準ス

第三條 局長ハ金錢切手類及物品ノ出納ヲ會計主任ニ命令シ會計主任ハ其命令ニ依リ之ヲ取扱フモノ

トス但會計主任ハ該局ニ屬スル金錢切手類及物品ヲ管守シ擔保ノ責ニ任スルモノトス

第四條 凡ソ會計事務ニ關シ其局限リ施行スル規則類ヲ設ケ又ハ之ヲ變更スルトキハ所管一等郵便電

信局長ノ認可ヲ受クヘシ

第五條 會計帳簿及計表ハ書式ニ示シタル一定ノ組織體裁ニ依リ之ヲ設クヘシ若シ其數ヲ増減シ其樣

式ヲ變更スルモ亦第四條ニ據ルヘシ

第六條 凡ソ金錢切手類及物品ノ員額ヲ帳簿證書類ニ記載スルトキハ其字格端正ヲ要ス又書損脫字等

アルモ妄ニ塗抹改竄スルヲ許サス必ス書損脫字等ノ正中ニ朱ノ二線ヲ畫シ正字(原字墨ナレハ)ヲ其

上部ニ記入スヘシ但收入金納付書納額告知書及仕拂切符ノ員額ハ訂正スルヲ許サス

第二章 收支豫算

第七條 局長ハ別ニ定ムル所ノ豫算調理順序ニ依リ毎年度歳入歳出豫算書ヲ調製スヘシ

第八條 歳出豫算額ハ年度開始前若クハ年度ノ始ニ於テ所管一等郵便電信局長ヨリ之ヲ局長ニ通達スルモノトス

第九條 局長ハ前條通達ノ歳出豫算額ニ基キ該局一週年度ノ經費ヲ支辨スヘキモノトス故ニ第十條ノ流用裁可ヲ得サル前豫算科目ニ超過シタル仕拂命令ヲ爲シ又ハ仕拂フヘキ契約ヲ爲スヲ得ス但臨時非常ノ事變若クハ成規變更ノ爲メ止ヲ得サル場合及實費ヲ以テ支給ヲ爲スヘキモノ等ニ於テハ第一號書式ノ増額請求書ヲ製シ所管一等郵便電信局長ニ具申シテ其指揮ヲ受クヘシ

第十條 局長ハ年額ノ豫算ニ對シ經費目ノ流用ヲ要スルトキハ其年度十月及一月ノ二期ニ取纏メ第二號書式ノ流用計算書ヲ調製シ翌月五日迄ニ發局所管一等郵便電信局長ニ具申シテ其指揮ヲ乞ヒ其節以下ハ局長隨時之ヲ流用スルコトヲ得ヘシ但異項ノ流用ハ第九條但書ノ場合ニ非サレハ之ヲ許サス又俸給ハ節ト雖トモ交互流用スルヲ得ス

第十一條 前條期限ノ外臨時流用セサレハ事實差支ヲ生スルトキハ臨時流用ヲ具申スルコトヲ得ヘシ但毎年度二月以降ニ於テハ第九條但書ノ外流用ヲ請求スルコトヲ得ス

第十二條 局長ハ一箇年度二回(十月及十一月)既往ノ支出額ニ就キ後月ニ於テ支出スヘキ豫算額ヲ考量算定シ其増減ノ事由ヲ詳悉シタル第三號書式ノ經費豫算實況報告書ヲ調製シ第十條ノ流用計算書ト共ニ翌月五日迄ニ發局所管一等郵便電信局長ニ差出スヘシ

第三章 金錢切手類及物品ノ出納

第十三條 左ニ掲クル各項ノ收入金ハ翌日迄ニ歳入ノ各科目ニ區別シタル第四號書式ノ納付書正副ヲ製シ局長之ニ捺印シ所在金庫ニ納付シ其領收ヲ證シタル納付書ヲ領置スヘシ

一 郵便電信收入

一 懲罰及沒收金

一 違約金

第十四條 官舍貸下料ハ現金ヲ以テ徵收シ即日振替爲替ニテ所管一等郵便電信局ニ送納スヘシ

第十五條 海外電報料ヲ收入スルトキハ一日分ヲ集計シ第二十七條一項ノ手續ニ依リ金庫ノ管守預ト

ナシ領收證書ヲ受取ヘシ其金額ハ同條三項ノ手續ニ依リ毎月三回(二十一日)外信局ヘ送納スヘシ

第十六條 海外信前納預リ金尋問校正料前納返信料島嶼配達料及豫算ヲ以テ收入シタル別使配達料ハ

金庫ノ管守預トナシ其收入ノ確定シタル後第十三條ニ據リ處分スヘシ

第十七條 萬國電信條約書附屬細目第七十條ニ依リ其料金ヲ還付セントスルトキハ外信局ノ通知ニ依

リ收入シタル海外信内外電報料金ヨリ還付シ其旨郵便切手及收入金受拂報告表備考中ニ記載スヘシ

但年度經過後ニ生スル還付金ハ會計局ヨリ送付ス此場合ニ於テハ之ヲ本人ニ交付シ領收證書ヲ徵シ

會計局ヘ送付スヘシ

第十八條 第十三條乃至第十七條ノ收入金ヲ出納スルトキハ會計主任第五號書式ノ調書ヲ製シ局長ノ

決判ヲ受ケ之ニ據テ其手續ヲ爲スヘシ但局長ニ於テ會計主任ヲ兼掌スル場合ハ調書ヲ設ケサルモ妨

ナシ

第十九條 第十三條乃至第十七條ノ外收入金ヲ徵收セントスルトキハ第六號書式ノ納額告知書ヲ發シ

之ヲ納人ヘ交付シ納人ヲシテ上納書正副共ニ年月日ヲ記載シ記名捺印(見認印花押ニ)告知書ト共ニ

現金ヲ添ヘテ金庫ニ納付セシムヘシ

但事實納額告知書ヲ發行シ難ク現金ヲ以テ徵收シタルトキハ即時其旨所管一等郵便電信局長ヘ具申

シ該現金ハ第十三條ニ依リ處分スヘシ

第二十條 前條ニ依リ納額告知書ヲ發スルトキハ總テ第七號書式ノ納額臺帳ニ據リ告知書ニ納人ノ姓

名金員納期告知書番號所屬曆年納付先等ヲ記載シ又其告知書ニ接續シタル上納書ノ正副トモ右同一ノ記入ヲナシ納額告知書ニハ發付ノ年月日ヲ記シ局長記名捺印シ第六號書式ホ印ノ處へ臺帳ト割印シ之ヲ納入へ交付スヘシ

第二十一條 會計主任ハ金庫ヨリ上納副書ニ納濟ノ月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ割印ノ上送付シタルトキハ之ヲ納額臺帳ニ照合シ該臺帳ニ納濟ノ記入ヲナスヘシ

第二十二條 局長ハ金庫ヨリ上納副書若クハ領收ヲ證シタル納付書ヲ受ケタル後年度又ハ科目ノ誤記ヲ發見スルトキハ即時金庫ニ照會シテ之カ訂正ヲ請求スヘシ

第二十三條 局長ハ毎月實收セシ郵便電信收入(圓位ニ止ムヘシ)ヲ取調翌月三日迄ニ電信ヲ以テ內信局長ニ申報スヘシ

第二十四條 局長ハ既納歲入ノ過誤納ヲ發見シタルトキハ第八號書式ノ歲入金過誤納下戻計算書ヲ製シ即時其事由ヲ具シテ拂戻方所管一等郵便電信局長へ請求スヘシ

第二十五條 經費ノ仕拂ヲナサントスルトキハ俸給其他局員へ給與スヘキモノハ其調書ニヨリ物品買上代等他人ニ交付スヘキモノハ代價請求書ニヨリ經費明細簿ニ登記シ其調書又ハ請求書ニ局長檢印シテ所管一等郵便電信局ニ送付シ其回金ヲ得テ之ヲ交付シ正當請取證書ヲ徴シ一等郵便電信局ニ送付スヘシ

但本條ノ經費金到達セハ直ニ之ヲ交付シ無故局中ニ留置コトヲ得ス若シ不得止事故ノ爲メ留置クトキハ第二十七條ノ手續ニヨリ金庫ノ管守ニ付シ即時一等郵便電信局ニ照會シテ其指揮ヲ受クヘシ

第二十六條 經費ノ內俸給其他局員へ給スルモノハ其月ノ支給額ヲ取調其調書ヲ製シ其他ノ費用(前月二十日ヨリ其月十九日迄ニ係ルモノ)ハ請求書ニヨリ毎月二十日迄ニ其局ヲ發シ一等郵便電信局ニ送付スヘシ但俸給其他ノ支給額ハ可成過不足ナキ様注意スヘシ尤實際ニ於テ過不足ヲ生シタルトキハ翌月ノ經費調書ニ於テ加除スヘシ

其年度末月ノ經費請求書差立後(即三月二十日以後同三十一日迄)ハ可成經費ノ支出ナキ様注意スヘシ尤電信別配達料ノ如キ實務上不得止モノハ別ニ其請求書ヲ取纏メ翌年度四月二日迄ニ發局所管一等郵便電信局ヘ送付スヘシ

第二十七條 歲入ニ屬スルモノヲ除キ其他一切ノ金錢ハ雜部トシテ所在金庫ノ管守ト爲シ仕拂切符ヲ以テ支出ヲ執行スヘシ其手續ハ左ノ各項ニ據ル但經費金ハ第二十五條但書ノ場合ノ外金庫ノ管守トナスニ及ハス

第一項 凡ソ金錢ヲ金庫ノ管守トナスニハ第九號甲書式ノ雜部金納付書ヲ製シ之ニ現金又ハ仕拂切符送金手形等ヲ添ヘ金庫ニ納付シ其領收證書ヲ受取ルヘシ

第二項 其仕拂ヲ要スルトキハ會計主任ニ於テ請求書其他證據書類ニ局長ノ決判ヲ受ケ第九號乙書式ノ仕拂切符元帳及仕拂切符案内書共ニ年月日番號科目(雜部ヲ云フ)金員等ヲ記載シ局長記名捺印ノ上切斷シ案内書ハ金庫ニ送付シ仕拂切符ハ受取人ニ交附シテ領收證書ヲ徵スヘシ

第三項 其仕拂中他地方ヘ遞送ヲ要スルトキハ仕拂切符ノ裏面ニ受取人ノ住所姓名並ニ現金ノ遞送ヲ請求スル旨ヲ記載シテ案内書ト共ニ金庫ニ送付シ金庫ヨリ送金手形等ヲ交付シタルトキハ之ヲ受取人ニ送付シ其領收證書ヲ徵スヘシ但金庫ヨリ現金ヲ以テ遞送スルトキハ金員遞送證ヲ金庫ヨリ預リ置キ追テ受取人ノ領收證書ト交換スルモノトス

第四項 金庫ヨリ仕拂切符ノ記載方成規ノ如クナラサルカ又ハ案内書ト符合セサルカノ通知ヲ得ルトキハ其理由ヲ審查シ該切符若シ番號年月日ノ脫落書損金額ニ關セサル文字ノ誤記又ハ汚染損傷シタルモ其真正ナルヲ保證シ得ル場合ニシテ證書ノ効力ヲ失セサルカ若クハ案内書ノ誤謬ナレバ其切符ノ正當ナル保證書ヲ金庫ヘ送付シテ其仕拂ヲ請求スヘシ若シ又金員ノ脫落書損塗抹押印ノ脫落切符面ノ必要ナル點ニ描改ノ形跡アルモノ又ハ汚染損傷甚シク其眞實ヲ鑑別シ難キ等證書ノ効力ヲ有シ難キ場合ニ於テハ其旨ヲ金庫ニ報シテ仕拂切符ヲ持參人ヘ返付センコトヲ請求スヘシ但其偽造變造ニ係ルトキハ局長ハ事實ヲ具シテ即時所管一等郵便電信局長ニ開申スヘシ

第五項 前項金庫ヨリ受取人ニ仕拂切符ヲ返付シタル場合ニ於テ其所有者ヨリ該切符ノ書換ヲ請求

セラレ正當ノ理由アリト見認タルトキ又仕拂期限(振出ノ日ヨリ)ヲ過キタル切符ノ書換ヲ請求セラル、トキハ仕拂切符ヲ再發シ舊仕拂切符ト交換シ舊仕拂切符ハ消印スヘシ

第六項 仕拂切符ノ書換ヲ爲ストキハ仕拂切符簿(大藏省ヨリ交付シタル仕拂切符元帳仕拂切符案内書用紙)ニ於テ通常仕拂切符發行ノ手續ニヨリ仕拂切符并ニ案内書ヲ製シ元帳ニハ朱書ヲ以テ金額事由ヲ記入シ再發ノ年月

日ヲ記入シ割印ノ上切斷スヘシ

第二十八條 局長ハ金庫仕拂時限外又ハ休日ニ於テ非常至急ヲ要スル管守金ノ仕拂アルトキハ其仕拂

切符ニ非常渡ノ印ヲ捺シ之ニ證印シテ受取人ニ交付スヘシ

第二十九條 運輸通信ノ便少ナキ島嶼其他金庫ノ設ナキ地方ニ在ル電信局ニ於テ收入金及經費ヲ現金

ニテ出納スルトキハ左ノ各項ニ據リ其收支ヲ執行スヘシ

第一項 日々ノ收入金ハ金高百圓未満ハ毎月一日十一日二十一日百圓以上三百圓以上ハ其都度(以上ハ其翌日)第四號書式ノ納付書正副ヲ製シ局長之ニ捺印シ所管一等郵便電信局所在地ノ金庫ニ送付シ現金ハ其局ニ留置キ第十號書式ノ保護預リ證書ヲ製シ納付書ト共ニ同金庫ニ送付スヘシ

第二項 不用物品賣下代ノ如キ納額告知書ヲ發シ徵收スヘキモノモ第十九條ノ例ニ據ラス凡テ現金

ヲ以テ徵收シ即時其旨一等郵便電信局長ニ報告スヘシ

第三項 經費金ハ該局保護預リ證書ヲ以テ保護預リ金ノ内ヨリ交付ス若シ保護預リ證書ノ金額交付スヘキ經費金ヨリ多キトキハ保護預リ金ニ對スル金庫ノ爲替證書ヲ以テ交付シ不足スルトキハ其不足額ハ金庫ヨリ現金ヲ以テ送付スヘシ

第四項 金庫ヨリ保護預リ金納付方ノ通知ヲ受ケタルトキハ内國通運會社ノ便ヲ以テ同金庫ニ送納スヘシ

第五項 保護預リ金ハ每三箇月ニ其受拂ヲ精算シ第十一號書式ノ計算書ヲ製シ翌月十五日迄ニ發局金庫ヘ送付スヘシ

第三十條 日々出納スル金錢ハ悉皆第十二號書式ノ現金出納簿ニ登記スヘシ假令如何ナル事故アルモ其登記ヲ怠リ又ハ他日ニ遷延スルヲ許サス

第三十一條 局長ハ其證據書類ニ據リ歳入ハ第十三號書式ノ收入金明細簿ニ歳出ハ第十四號書式ノ經費明細簿ニ登記シ毎月末日第十五號書式ノ計算表ヲ製シ所管一等郵便電信局ヲ經由工務局長ニ進達スヘシ

第三十二條 局長ハ日々出納閉鎖ノトキ現金出納簿ニ登記セル受拂金員ヲ證據書類ニ照合シ計算ノ確實ナルヲ認定シタル上其差引殘高ニ檢印スヘシ

第三十三條 毎月金庫ヨリ送付ノ雜部金出納表ハ現金出納簿ニ照シ照合濟ノ旨ヲ追書シ局長檢印シテ所管一等郵便電信局ニ送付スヘシ

第三十四條 局長ハ毎年一月末日限り翌年度ニ於テ使用スヘキ仕拂切符原紙ヲ取調第十六號書式ノ豫算書ヲ製シ大藏省出納局ヘ送付シ置キ其原紙ハ所在金庫ヨリ受取り其受拂ハ翌年度四月末日限り第十七號書式ニヨリ調製シ原紙ヲ受取タル金庫ヘ報告スヘシ

第三十五條 賣下クヘキ切手類ハ大凡二箇月分ヲ豫算シ第十八號書式ノ請求書ヲ製シ所管一等郵便電信局ヘ請求スヘシ

第三十六條 局長ハ窓口ニ於テ賣下クヘキ切手類ヲ見積リ豫メ其數ヲ定メ之ヲ其取扱主任ニ交付シ置キ毎日出局又ハ退局時限ニ至リ前日出局又ハ退局ヨリノ賣下高及代金ヲ精算シ殘高ヲ檢査スヘシ但賣下タル切手ハ代金精算ノ節帳簿ノ拂ニ立テ而テ更ニ其額ニ當ル切手ヲ假出シ窓口假出高ハ常ニ一定ナラシムルヲ便トス

出局時限ヲ以テ精算スル場合ニハ當日賣下タル切手代金ハ退局時限ニ至リ假ニ其取扱主任ヨリ受取會計主任ニ於テ之ヲ保管スヘシ

第三十七條 損傷切手類ハ毎月取纏ノ上第十九號書式ノ納付證ヲ添ヘ之ヲ所管一等郵便電信局ヘ送納スヘシ

第三十八條 切手類ノ收支ハ當日必ス第二十號書式ノ切手類受拂簿ニ登記ヲ完了シ其殘高ハ局長ニ於テ時々現品ニ照シ之ヲ検査スヘシ

第三十九條 物品ノ購買ハ局長ノ決判ヲ得入札又ハ見積等便宜ノ方法ヲ以テ購買スヘシ

第四十條 會計主任ニ於テ物品ノ受拂ヲナストキハ局長ノ決判ヲ受ケ第二十一號書式ノ物品受拂簿ニ登記シ之ヲ局員ニ交付スルトキハ第二十二號書式ノ物品交付簿ニ受取人ノ證印ヲ徵スヘシ

第四十一條 會計主任ハ使用中ニ係ル器械備品類ヲ第二十三號書式ノ物品現在簿ニ登記シ破損賣却セシモノ等ヲ扣除シ毎年十二月三十一日現在品ヲ調査シ第二十四號書式ノ物品現在表ヲ製シ該局長ノ査閲ヲ受ヘシ

第四十二條 物品不用ニ屬シ到底使用ノ目途ナキモノ及損傷シテ所用ニ適セサルモノハ入札法ヲ以テ賣却スヘシ尤些少ノ物品ハ入札法ヲ用ヒス局長ノ決判ヲ得便宜之ヲ賣却スルヲ得

第四十三條 前條物品ニシテ本省及所管一等郵便電信局ヨリ交付ニ係ルモノハ該局ヘ返納スヘシ但其局ニ於テ處分スルヲ便宜トスルトキハ該一等郵便電信局長ニ具申シ其指揮ヲ受ヘシ

第四十四條 電氣通信上ニ要スル物品ハ一等郵便電信局長ニ請求シ其受拂ノ手續ハ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第四十五條 建物ノ修繕ヲ要スルトキ其局修繕費豫算以内ヲ以テ支辨シ得ルモノハ直ニ之ヲ處理シ其以外ニ及フモノ及在形ニ變更ヲ來スモノハ仕様書ヲ添ヘ所管一等郵便電信局長ニ具申シ其指揮ヲ受クヘシ

第四十六條 金錢切手類物品並ニ證據トナルヘキ種類帳簿印類等總テ重要ノモノハ日々閉局ノ際堅牢ナル筐中ニ藏メ之ヲ保管スヘシ

第四十七條 局長ハ毎月第二十五號書式ノ郵便切手類及收入金受拂報告表ヲ製シ第二十六號書式ノ物品拂下代徴收仕譯書(收入ノアリシ月)及納付書上納副書等ヲ添ヘ翌月二日迄ニ其局ヲ發シ所管一等郵便電信局ヘ送付スヘシ尤年度經過後ノ納付金(某年度分ニシテ翌年度四月)ハ某年度所屬トシテ悉皆

金庫ニ納付シ第二十七號書式ノ收入金報告表ヲ製シ翌年度四月十日限送致スヘシ

第四十八條 年度末期ニ於テ物品拂下代其他歳入ノ徴收ヲ完了セサルモノアルトキハ其金員事由納入ノ氏名等ヲ記載シタル第二十八號書式ノ報告書ヲ製シ年度經過後三日以内ニ其局ヲ發シ所管一等郵便電信局ヘ報告スヘシ

第四十九條 局長ハ收入金及切手類ニ對シ第二十五號書式ニ準シ決算書ヲ製シ翌年度五月三十一日迄ニ所管一等郵便電信局ヘ送付スヘシ

第五十條 收入金ノ決算ハ其一周年度ニ係ル各決算書ニ對シ所管一等郵便電信局ヨリ交付スル所ノ決算證書ヲ得ルヲ以テ完了スルモノトス

第五十一條 現行規則中此規則ニ抵觸スルモノハ廢止ス

目次			稱
番號書式	名		
第一號	經費預算增額請求書		
第二號	經費預算流用計算書		
第三號	經費預算實況報告書		
第四號	納付書		
第五號	收入金出納調書		
第六號	納額告知書		
第七號	納額臺帳		
第八號	歲入金過誤納下戻計算書		
第九號	雜部納付書		
第十號	仕拂切符		
第十一號	保護預り證書		
第十二號	保護預り金精算書		
第十三號	現金出納簿		
第十四號	某年度收入金明細簿		
第十五號	某年度經費明細簿		
第十六號	某年度經費明細簿計算表		
第十七號	仕拂切符豫算書		
第十八號	仕拂切符受拂報告書		
第十九號	切手類請求書		
第二十號	損傷切手類納付證		
第二十一號	切手類受拂簿		
第二十二號	物品受拂簿		
第二十三號	物品交付簿		
第二十四號	諸物品現在簿		
第二十五號	諸物品現在表		
第二十六號	郵便切手類及收入金受拂報告表		
第二十七號	物品拂下代徴收仕譯書		
第二十八號	某年度所屬收入金受拂報告表		
第二十九號	歲入徴收未済報告表		

第一號書式

第何號

(番號及但書ハ朱)

某局明治何年度經費豫算増額ノ義ニ付上申

科	目	現	豫	算	額	増	額	請	求	高	仕	拂	見	込	高
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

俸給及諸給 判任以下俸給					貳八〇〇〇〇 _圓						五貳五〇〇〇 _圓				三三貳五〇〇〇 _圓
-----------------	--	--	--	--	---------------------	--	--	--	--	--	---------------------	--	--	--	----------------------

但何々ノ事由ニテ電信書記判任三等一人同六等二人各五箇月分俸給増加ニ充ツヘキ分

廳	器具	器械	費												
---	----	----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

但何々ノ事由ニテ新規何々ヲ要スルヲ以テ器具ニ増加ヲ要ス

合	計				三三〇〇〇〇〇						五七五〇〇〇				三、八七五〇〇〇
---	---	--	--	--	---------	--	--	--	--	--	--------	--	--	--	----------

右經費豫算増額之儀御裁可相成度此段上申候也

年 月 日 某局長氏名印

某郵便電信局長宛

第二號書式

第何號

(番號及但書ハ朱)

某局明治何年度經費豫算流用増減之儀ニ付上申

科	目	現	豫	算	高	増	額	減	額	見	込	仕	拂	高
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

應費 器具器械費					壹貳五〇〇〇 _圓				〇 _圓			貳〇〇〇〇 _圓		壹〇五〇〇〇〇 _圓
-------------	--	--	--	--	---------------------	--	--	--	----------------	--	--	--------------------	--	----------------------

同	但何々ノ事由ニテ殘額ヲ生ス圖書及印刷費へ流用	貳〇〇〇〇	四〇〇〇〇	〇	六〇〇〇〇
同	圖書及印刷費				
同	但何々ノ事由ニテ不足ヲ生ス器具器械費ヨリ貳拾圓雜費ヨリ貳拾圓流用				
同	筆紙墨文具	四三七〇〇〇	〇	三〇〇〇〇	四〇七〇〇〇
同	但何々ノ事由ニテ殘額ヲ生ス通信運搬費へ流用				
同	消耗品	四貳六〇〇〇	貳五〇〇〇〇	〇	六七六〇〇〇
同	但何々ノ事由ニテ不足ヲ生ス被服費ヨリ流用				
同	被服費	六〇五四〇〇〇	〇	貳五〇〇〇〇	三五五四〇〇〇
同	但何々ノ事由ニテ殘額ヲ生ス消耗品へ流用				
同	通信運搬費	四九〇〇〇	三〇〇〇〇	〇	七九〇〇〇
同	但何々ノ事由ニテ不足ヲ生ス筆紙墨文具ヨリ流用				
同	雜費	壹〇九壹〇〇〇	〇	貳〇〇〇〇	壹〇七壹〇〇〇
同	但何々ノ事由ニテ殘額ヲ生ス圖書及印刷費へ流用				
合	計	貳七五三四〇〇〇	三貳〇〇〇〇	三貳〇〇〇〇	貳七五三三〇〇〇

右經費流用之儀御裁可相成度此段上申候也

年月日

某局長氏名印

某郵便電信局長宛